



指定得意先の含有は全得意先よりも低い含有で推移しています。
窒素含有が高い場合、その際に貯蔵性炭水化物を消費します。

指定得意先の含有は全得意先よりも低い含有で推移しています。

指定得意先の含有は全得意先よりも低い含有で推移しています。
夏の高温期に含有が著しく低下しています。

指定得意先の含有は全得意先よりも高い含有で推移しています。
施肥や土壌有機物の分解促進で含有が高くなります。

貯蔵性炭水化物の含有率の推移で、良い例と悪い例の違いは、良い例の場合、夏の高温期においても有る一定の含有を維持していますが、悪い例の場合、夏に著しく含有を低下させています。この違いは窒素含有にあると言えます。
良い例は窒素含有を全得意先と比べ低い含有で推移していますが、悪い例は全得意先と比べ高い含有で推移しており、夏に著しく含有が高くなっています。芝の生長期に肥料を多く入れすぎてしまうと葉の生長が著しくなり、その際に貯蔵炭水化物も消費します。また、肥料だけでなく、土壌有機物の分解が促進されて芝に吸収される事でも含有が高くなります。よって、窒素含有を適度に抑える事が貯蔵性炭水化物の大きな低下を防ぐ重要なポイントになります。